

商品名MATRIX (マトリックス) 【一般名MD α (マルチデトックスアルファ)】成分表■商品名MATRIX (マトリックス) 【MD α 】マトリックスゴールド (MD α 30) : 30倍希釈マトリックスシルバー (MD α 50) : 50倍希釈マトリックスブルー (MD α 100) : 100倍希釈

栄養成分表示(100ml あたり)

エネルギー : 1kcal
 タンパク質 : 0.0g
 脂 質 : 0.0g
 炭水化物 : 0.3g
 食塩相当量 : 0.211g

《成分及び原料名(天然由来成分)》

六員環構造水、フルボ酸、液状ミネラル(77種)、海藻抽出成分(有機ヨウ素)、水溶性ケイ素(2種)、グレープフルーツ種子抽出物(食品添加物)

《内容量》500ml

■MD α メディカルローション / MD α ヘアジェル【MD α メディカルローション】

●成分及び原料名(天然由来成分)

六員環構造水、海藻抽出成分(有機ヨウ素)、フルボ酸、水溶性珪素(2種)、液状ミネラル(77種)、グレープフルーツ種子抽出物(食品添加物)
 内容量 : 300ml

【MD α ヘアジェル】

●成分及び原料名(天然由来成分)

六員環構造水、海藻抽出成分(有機ヨウ素)、フルボ酸、水溶性珪素(2種)、液状ミネラル(77種)、ラジカルスポンジ、プロテオグリカン、グレープフルーツ種子抽出物(食品添加物)
 内容量 : 300ml

株式会社健康長寿医療維新

〒192-0043東京都八王子市暁町1-15-9

TEL : 042-625-1841

六員環構造水を MD α の溶媒水に採用致しました。

昭和 34 年頃から食品添加物が多量に使われるようになって、現在までの凡そ 80 年間に生活習慣病という地球規模で共通した病気が蔓延しています。食品だけではなく医薬品・農薬・プラスチック製品などが身の回りに溢れ、私達はもはや化学物質を避けては生きてゆけない日々になっています。化学物質の恩恵は受けながらも体内に入ってくる化学物質をどうすれば良いか？医学もやっと、その解決方法について模索されているように感じます。私達は MD α がもつ基礎代謝の賦活によって自然免疫を元通りにする事、次に体内に蓄積されている化学物質をデトックス(分解・解毒・排泄)する天然の有効成分である事を条件に両輪として働かなければ**老化と病気を未然に防げません。それには「細胞内の水分は六員環として働き、細胞外体液であるリンパ液は五員環として夫々が細胞の劣化と水分量の減少を防いで健康を維持し」日々、高められたらと、思い**溶媒に六員環構造水を試しておりました。その結果、優れた浸透性があることが判明し採用するに至りました。MD α の成分と浸透性のマッチングについて量子学的検証を求めたところ別紙のように「トリプル A」の評価を受け、採用致しました。ここにそのデータがありますのでご覧下さい。六員環構造水を効率的に摂取頂くには、MD α が到着しましたらすぐに冷蔵庫に入れておいて下さい。冷たいほど六分子が安定して体内に働きかけます。最近随分とドクターに関心をもって頂く機会が増え、医薬品のもつ副作用の低減、改善などに顕著なご報告を頂いています。

開発者：GSI 研究所株式会社代表 長谷川 幸夫

STPV値測定票

追跡測定: 回目		票計測定: 1回目		日付 2022年 3月 24日 pm6;20		1/1				
依頼先名	様		住所			TEL				
約定先名	(株)Y・Gテック様		住所 熊本県菊池郡菊陽町光の森7-22-5			TEL				
供試体	①	1点	MDα リバランスウォーター (500ml)			区分	MTL			
	②	点					◎	HBY		
	③	点				CGD		KJY		
	④	点								
	⑤	点								
測定点数	合計	点	生年月日	年	月	日	血液型	型		
原産地等			男性	女性	歳	測定時刻				
測定結果	AAA		過去の状況							
固有价值	マイナス 1		医療効果のある液体							
測定所見	評価	良好								
	非常にエネルギーが強く、安定した食品。									

	測定期日等	STPV-UR測定値・変換状況	桁数	位相	電子系判定	摘要
1	2022/3/24	111 111 111 11	11	—	— R	原材料が天然物質のものと思われるにも拘わらず分子レベルの数値がマイナス10の11乗と狂いなく揃い、純度が重く、品質は極めて高い。量子学視点から観て、内部エネルギーと反応力は強く、高励起、整合した高品質商材であると見受けられる。
2	↓	↓				
3	2022/4/15	111 111 111 111	12	—	— R	
4	(STP印加・加波)	000 000 000 000				
5						
6						

特記事項: 通常生物系にある正常で健康な動植物体の電子状態は測定値11~12桁の数値列がすべて4以内の数値で安定融合し統一されている。

人間の身体を含む原子(細胞)から分子、そして構造体(組織体)全体へと十二単のような「エネルギー層構造」になっています。

そして唸派を形成しています。

不純物の無い純粋な物質や健康な体は全域にわたって同じ周波特性のエネルギーが重なり、強力で安定した唸波を発しています。

12層の中に異なる周波数が混在すると、物質の場合は不純物が混在。身体の場合は何らかの異常あることになります。

(例)位置はマイナス(陰性)で電子はRスピン、数値は「4以下で乱れなく安定してエネルギーが重い状態」

特記事項等: 一般に超健康体な身体は全数値列が4以内で安定的に統一し、構成電子状態は乱れなく固有价值で極めて安定する。

例: 111 111 111 11(金)

222 222 222 22(銀)

333 333 333 33(銅)

444 444 444 44

数値のすべてが同一数値で異変値がなく安定している状態を示す。

数値 1 はエネルギーが最も重く、数値が下がるに従いエネルギーは低下する。

製品安全データシート

1. 製品	
商 品 名	フルボ酸
用 途	化粧品・農業・化学工業領域
製 品 コード	
2. 組成、成分情報	
単一製品混合物の区分	混合製品
科 学 特 性	フルボ酸 腐食性物質混合物
3. 危険有害性の要約	
有 害 性	人体に対する有害性は極めて弱いと考えられる
危 険 性	特になし
環 境 影 響	特になし
分 類 の 名 称	分類基準に該当しない
4. 応急処置	
吸入した場合	特に問題は無いが違和感を感じる時はうがい等により水洗し、新鮮な空気の場所に移動させ、安静にして必要に応じて医師の診断を受ける。
目に入った場合	数分間流水で十分に洗い流す。必要に応じて眼科医の診断を受ける。
皮膚に触れた場合	特に問題は無いが違和感を感じる時は流水で十分に洗い流す。刺激が残るようなら専門医の診断を受ける。
飲み込んだ場合	大量の水を飲ませ、直ちに医師の処置を受ける。
5. 火災時の処置	
消 火 方 法	不燃性の液体なので問題ないが、周辺火災の場合には速やかに容器を安全な場所に移す。
消 火 剤	不燃性の液体なので必要なし。
6. 漏出時の処置	
人体に対する注意事項	作業の際、ゴム手袋、マスク等の保護具を着用する。
環境に呈する注意事項	床面などにこぼれた場合は、ウエス等にしみこませてから空容器に回収する。
7. 保管上の注意	
取 扱 方 法	特別な処置はないものの、出来るだけ皮膚などに付けないように注意する
保 管 方 法	湿気、開封状態での放置はしない、冷暗所に保管する。
8. 暴露防止処置及び保護処置	
管 理 濃 度	設定されていない。
許 容 濃 度	設定されていない。
保 護 具	手 の 保 護 具:保護手袋 目 の 保 護 具:保護眼鏡 皮膚及び身体の保護具:保護服(長袖作業服) その他の保護具:防塵マスク
9. 物理・科学的性質	
外 観	濃い茶褐色の溶液。
匂 い	特有のにおい。
融 点	データ無し。
沸 点	データ無し。
10. 安定性及び反応性	
安定性・反応性	一般的な取扱いや貯蔵に於いては安定。反応なし。
引 火 点	情報なし。(該当せず)

11. 有害性情報	
現時点では通常通りの取り扱いにおいて有害性は認められていない。	
刺激性	情報はないが、極めて弱いと考えられる。
急性毒性	情報なし。
過敏性	過敏性なし。
12. 環境影響情報	
一般情報	環境への負の影響は現在の所、知られていない。
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	大量の水とともに下水に流す。
容器・包装袋の処分	工場内の基準に従って処分するか、都道府県知事の許可を得た廃棄業者に委託処理する。
14. 輸送上の注意	
国際規約	規制されない。
国連分類	危険物に該当せず。
国連番号	危険物に該当せず。
輸送の特定の安全対策及び条件	容器に漏れないことを確かめ、転倒、落、損、傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
15. 適用法令	
適用法令は特になし。	
<p>この製品データシートは、現時点において当社が入手している資料・情報に基づいて作成したものです。当該条件における危険・有害性・環境影響・その他に関する情報を提供するものであって保証するものではありません。</p> <p>又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。</p> <p>今後、新たな情報・知見により記載事項を変更する場合があります。</p>	

Material Safety Data Sheet(製品安全データシート)

更新日：2011/02/10

1：製品

製品名： シーマロックス
推奨用途及び使用上の制限： 農業用天然ミネラル肥料の原料
消臭剤の原料
水の浄化剤原料
ミネラルサプリメントの原料
化粧品原料
清涼飲料水の原料

2：危険有害性の要説

物理化学的危険性 引火性： なし
自然発火性： なし
自己発熱性： なし
水反応性可燃性： なし
酸化性： なし
健康に対する有害性 急性毒性(経口/経皮)： なし
慢性毒性(経口/経皮)： なし
皮膚侵蝕性： なし
皮膚刺激性： なし
目に対する損傷： なし
発がん性： なし
環境に対する有害性 水生環境有害物質(急性)： なし
水生環境有害物質(慢性)： なし

上記以外の危険有害性は分類対象外か分類できない。

3：組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分： 単一製品

化学名又は一般名	濃度または濃度範囲	化学特性
天然微量元素	20%	----
遊離硫酸基	5%	SO ₄ -----
水	75%	H ₂ O

4：応急処置

- 目に入った場合： 流水で洗い流す。
皮膚に付着した場合： 流水で洗い流す。
飲み込んだ場合： 飲料水を飲む。
吸入した場合： 水溶性であり該当しない。

5：火災時の対応

- 消火剤： 製品は不燃性。周辺火災の種類に応じた適切な消火剤を使用する。
特有の危険有害性： なし
特有の消化法： 不要
消化を行うものの保護： 適切な保護具を着用する。

6：漏出時の処置

- 人体に対する注意事項： 無害であるが目や皮膚への接触を避ける。
環境に対する注意事項： 不要：無害
回収・中和： 消石灰その他のアルカリ性物質で中和する。

THEMAROX微量元素分析表(10,000倍液)

analyte		concentration(ppm)	intensity(硬度)	analyte		concentration(ppm)	intensity
H	水素	Not measured		Ru	ルテニウム	0.00000	0
He	ヘリウム		242	Rh	ロジウム	0.00001	50
Li	リチウム	0.00018	72	Pd	パラジウム	0.00000	0
Be	ベリリウム	0.00146	175	Ag	銀	0.00144	2718
B	ホウ素	0.04580	4255	Cd	カドミウム	0.00010	336
C	炭素	3.46600	206425	In	インジウム	0.00001	34
N	窒素	Not measured		Sn	錫	0.01435	57844
O	酸素	Not measured		Sb	アルチモン	0.00007	158
F	フッ素	Not measured		Te	テルル	0.00022	186
Ne	ネオン		1134	I	ヨウ素	0.00026	1175
Na	ナトリウム	0.04945	70200	Xe	キセノン		819
Mg	マグネシウム	0.00518	5145	Cs	セシウム	0.00002	83
Al	アルミニウム	0.02084	24532	Ba	バリウム	0.00010	453
Si	珪素	0.26840	264812	La	ランタン	0.00002	92
P	リン	0.08720	3310	Ce	セリウム	0.00003	113
S	硫黄	6.60800	2016070	Pr	プラセオジウム	0.00007	292
Cl	塩素	0.80240	113618	Nd	ネオジウム	0.00083	3796
Ar	アルゴン		320428380	Sm	サマリウム	0.00003	125
K	カリウム	0.04001	98872	Eu	ユウロビウム	0.00001	48
Ca	カルシウム	0.02288	129002	Gd	ガドリニウム	0.00005	226
Sc	スカンジウム	0.00046	1075	Tb	テルビウム	0.00002	100
Ti	チタン	0.00114	2413	Dy	ジスプロシウム	0.00013	652
V	バナジウム	0.00015	326	Ho	ホルミウム	0.00001	42
Cr	クロム	0.00055	1264	Er	エルビウム	0.00005	224
Mn	マンガン	0.00028	717	Tm	ツリウム	0.00001	58
Fe	鉄	0.06114	202078	Yb	イッテルビウム	0.00003	157
Co	コバルト	0.00007	158	Lu	ルテチウム	0.00001	60
Ni	ニッケル	0.00033	572	Hf	ハフニウム	0.00003	123
Cu	銅	0.00038	620	Ta	タンタル	0.00004	108
Zn	亜鉛	0.00099	1027	W	タングステン	0.00017	663
Ga	ガリウム	0.01092	28711	Re	レニウム	0.00003	142
Ge	ゲルマニウム	0.00014	230	Os	オスマニウム	0.00002	122
As	砒素	0.00025	67	Ir	イリジウム	0.00002	66
Se	セレン	0.04156	880	Pt	白金	0.00003	76
Br	臭素	0.00551	841	Au	金	0.00017	154
Kr	クリプトン		94	Hg	水銀	0.00012	140
Rb	ルビジウム	0.00004	150	Tl	タリウム	0.00003	130
Sr	ストロンチウム	0.00014	636	Pb	鉛	0.00040	1659
Y	イットリウム	0.00002	67	Bi	ビスマス	0.00004	126
Zr	ジルコニウム	0.00004	146	Th	トリウム	0.00003	100
Nb	ニオブ	0.02962	92300	U	ウラン	0.00003	50
Mo	モリブデン	0.00019	674				

平成16年(2004年)10月25日

台湾精華大学分析結果

製品安全データシート

1. 製品	
商品名	還元型海藻抽出成分(コロイド化有機ヨウ素を含む)
用途	飲料水・化粧品・農業・化学工業領域
製品コード	
2. 組成、成分情報	
単一製品混合物の区分	混合製品
科学特性	海洋性有機物 デキストリン(食品規格適合) 水
3. 危険有害性の要約	
有害性	人体に対する有害性は無し。
危険性	特になし
環境影響	特になし
分類の名称	分類基準に該当しない
4. 応急処置	
吸入した場合	特に問題は無いが違和感を感じる時はうがい等により水洗し、新鮮な空気の場所に移動させ、安静にして必要に応じて医師の診断を受ける。
目に入った場合	数分間流水で十分に洗い流す。必要に応じて眼科医の診断を受ける。
皮膚に触れた場合	特に問題は無いが違和感を感じる時は流水で十分に洗い流す。刺激が残るようなら専門医の診断を受ける。
飲み込んだ場合	大量の水を飲ませ、直ちに医師の処置を受ける。
5. 火災時の処置	
消火方法	不燃性の液体なので問題ないが、周辺火災の場合には速やかに容器を安全な場所に移す。
消火剤	不燃性の液体なので必要なし。
6. 漏出時の処置	
	本品は有害で無いので通常の清掃用具で回収できるが、吸引や目や皮膚への付着を防ぐため、眼鏡及び手袋の着用が奨励される。
7. 保管上の注意	
取り扱い	天然物であるため沈殿が生じることがあるので、よく振ってから使用すること。
保管	湿気、開封状態での放置はしない、冷暗所又は冷蔵に保管する。
8. 物理・科学的性質	
外観	濃い茶褐色の溶液。
匂い	特有のにおい。
融点	データ無し。
沸点	データ無し。
比重	0.98~1.02
9. 安定性及び反応性	
安定性・反応性	一般的な取扱いや貯蔵に於いては安定。反応なし。
危険な分解生成物	特に無し。
避けるべき物質	特に無し。
引火点	情報なし。(該当せず)
10. 有害性情報	
現時点では通常通りの取り扱いにおいて有害性は認められていない。 又、天然物の抽出物であることから、毒物学的指示は特になし。	

刺激性	情報はないが、極めて弱いと考えられる。
急性毒性	情報なし。
過敏性	過敏性なし。
11. 環境影響情報	
一般情報	環境への負の影響は現在の所、知られていない。
蓄積性	有害性情報なし。
分解性	データ無し。
魚毒性	有害性情報なし。
12. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	大量の水とともに下水に流す。当該地域の現行法規に従って行うこと。
容器・包装袋の処分	工場内の基準に従って処分するか、都道府県知事の許可を得た廃棄業者に委託処理する。
13. 輸送上の注意	
国際規約	規制されない。
国連分類	危険物に該当せず。
国連番号	危険物に該当せず。
輸送の特定の安全対策及び条件	容器に漏れがないことを確かめ、転倒、落、損、傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
14. 適用法令	
適用法令は特になし。	
<p>この製品データシートは、現時点において当社が入手している資料・情報に基づいて作成したものです。当該条件における危険・有害性・環境影響・その他に関する情報を提供するものであって保証するものではありません。</p> <p>又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。</p> <p>今後、新たな情報・知見により記載事項を変更する場合があります。</p>	

製品安全データシート

MSDS No. M-2115-1

1. 製品

製品の名称 : 珪砂シリカ

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性；引火性液体	: 対象外
酸化性液体	: 対象外
酸化性固体	: 区分外
金属腐食性物質	: 区分外
その他の危険性	
健康に対する有害性；急性毒性（経口）	: LD50>2g/kg（ラット）
（経皮）	: 皮膚一次刺激物質ではない（ウサギ）
（蒸気）	: 対象外
（粉塵ミスト）	: 分類できない
眼に対する重篤な損傷/刺激性	: 弱殿の目刺激物質である（ウサギ）
呼吸器感受性	: 分類できない
皮膚感受性	: 感受性物質ではない（モルモット、5%濃度）
生殖細胞変異原性	: データなし
発ガン性	: IARCにグループ3(ヒトに対する発ガン性については分類できない)に分類
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性（単回曝露）	: 1076
（反復曝露）	: 1076
吸引性呼吸器有害性	: データなし
その他の有害性	:
環境に対する有害性；水生環境有害性（急性）	: 情報なし
（慢性）	: 情報なし

注)「分類できない」とは情報・データが不十分な為分類判定が出来ないもの、「区分外」とは分類基準に該当しないものです。又、上記以外の GHS 分類には対象外で該当しません。

ラベル要素

絵表示又はシンボル：、、、

注意喚起語：該当なし

危険有害性情報：眼に入ると、刺激、痛み、炎症の症状が出現することがある。

吸入した時、鼻、のど等の気道を刺激するおそれがある。

長期間にわたり粉塵を吸入すると、塵肺炎、けい肺症、繊維症を起すことがある。

飲み込んだ場合、嘔吐、腹痛、下痢を起こすおそれがある。

皮膚に付いた場合、刺激、発疹の症状が現れることがある。

注意書き【安全対策】：使用前に取扱説明書を入手すること。

すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。

保護手袋、保護眼鏡、呼吸用保護具、保護面、保護衣を着用すること。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

【応急処置】：飲み込んだ場合、口をすすぐこと。

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。

眼に入った場合、水で15分以上注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

皮膚刺激又は眼刺激がある時、ばく露又はその懸念がある時は医師の診断、手当を受けること。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

取り扱い後は、よく手を洗うこと。

【保管】：直射日光を避け、容器を密閉し換気の良い涼しい場所で施錠して保管すること。

【廃棄】：内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

注) 上記注意書きはGHSで定められた区分に対する推奨措置であり、法的要求事項ではありません。

国/地域情報：有用情報なし

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	: 単一物質
主成分化学名または一般名	: 二酸化ケイ素
別名	: 無水ケイ酸
CAS番号	: 7631-86-9
官報公示整理番号	: 化審法及び安衛法番号 (1) -548
GHS分類該当危険有害	: 1076
成分及び濃度又は濃度範囲	

4. 応急措置

吸入した場合	: 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	: 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、又は取り去ること。 汚染された衣類を脱ぐこと。皮膚を速やかに洗浄すること。 多量の水と石鹼で洗うこと。
目に入った場合	: 水で15分以上注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が持続する場合は、医師の診察、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	: 口をすすぐこと。意識がある時は生理食塩水又は水を飲ませ吐かせる。 意識がない時は、無理に吐かせないこと。 医師の診断、手当てを受けること。

予想される急性症状及び遅発性症状並びに最も重要な徴候及び症状

: 有用情報なし

5. 火災時の措置

消火剤	: 本品は不燃性である。周辺火災に応じた消火剤を使用すること。 小火災: 粉末消火剤、二酸化炭素、散水 大火災: 粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤、散水
使用禁止消火剤	: データなし
特有の消化方法	: 初期の火災には、水、炭酸ガス、粉末等を用いる。大規模火災の場合は、泡消火器を用いて空気を遮断するのが有効。
特有の危険性	: (注) 製品自身は不燃性
消火時の保護具	: 状況に応じて適切な保護具 (呼吸用保護具、防護服、保護手袋、長靴、保護用眼鏡等)を着用し、製品の吸入や接触を避ける

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ・ 作業者は状況に応じて適切な保護具（呼吸用保護具、防護服、保護手袋、長靴、保護眼鏡等）を着用し、製品の吸入や接触を避ける。又、作業は風上から行う。

環境に対する注意事項

- ・ 漏出物を直接河川などに流したり、飛散させたりしてはならない。

回収、中和、封じ込め及び浄化の方法と機材

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。関係者以外の立入りを禁止する。

作業者は適切な保護具（「8.ばく露帽子及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。

風上に留まる。

低地から離れる。

密閉された場所は換気する。

環境に対する注意事項：河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。

環境中に放出してはならない。

回収、中和：漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、回収物は、後で廃棄処理する。
後処理として、漏洩場所は大量の水で洗い流す。

封じ込め及び浄化の方法・機材：危険でなければ漏れを止める。

二次災害の防止策：排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱 技術的対策：「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気/全体換気：「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。

注意事項：使用前に使用説明書を入手すること。

接触回避：すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。

接触、吸入又は飲み込まないこと。

空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。

屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

この製品を使用する前に、飲食又は喫煙をしないこと。

保管 技術的対策：密閉状態で保管する。

漏洩禁止物質：10.安定性及び反応性を参照

保管条件：冷暗所に保管すること。

直射日光を避けて保管すること。

容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

容器包装材料：ポリエチレン、ポリプロピレン、ガラスなど

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度：設定なし

許容濃度：日本産衛学会（2007年版）第3種粉塵として、2 mg/m³（吸入性粉塵）

8 mg/m³（総粉塵）

ACGIH（2007年版）TLV-TWA 10 mg/m³（総粉塵）

設備対策：この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には手洗い器、洗眼器、安全シャワーを設置すること。

工程で粉じん、ヒュームが発生するときは、換気装置を設置する。

保護具 呼吸器用保護具 : 必ず防塵マスクを着用する。

眼の保護具 : 保護メガネ

手の保護具 : 保護手袋

皮膚及び身体の保護具：保護エプロン等

9. 物理的及び化学的性質

外 観 : 灰白色又は薄い着色を帯びた粉末

臭 い : なし

臭いの閾値：なし

粘 度 :

p H : 中性（水分散）

融点/凝固点：測定データなし

沸点（初留点/沸点範囲）

: 測定データなし

引 火 点 : 不燃性

発 火 点 : 測定データなし

爆発範囲 : 測定データなし

比 重 : 測定データなし

溶 解 度 : 有機溶剤には不溶、水に懸濁する

n-オクタノール/水分配係数

: 測定データなし

蒸 気 圧 : なし

蒸気密度：非該当

蒸発速度：非該当

分解温度：測定データなし

燃 焼 性 : (注) 製品自身は不燃性

そ の 他 :

10. 安全性及び反応性

化学的安定性	: 安定
危険有害反応可能性	: 強酸化剤と混合すると反応することがある
避けるべき条件	: 加熱、日光
混触危険物質	: 強酸化剤
危険有害な分解生成物	: 有用情報なし

11. 有害性情報

急性毒性	: LD50 > 2g/kg (ラット) 飲み込むと嘔吐、腹痛、下痢等の症状が現れることがある。 吸入すると、鼻、のど等の気道が刺激されるおそれがある。
皮膚腐食性/刺激性	: 皮膚に付着すると刺激が現れることがある。
眼に対する重篤な損傷/刺激性	: 眼に入ると刺激のおそれがある。
呼吸器又は皮膚感作性	: 感作性物質ではない (モルモット、5%濃度)
生殖細胞変異原性	: エイムステスト陰性
発ガン性	: IARC にグループ 3 (ヒトに対する発がん性については分類できない) に分類されている。
生殖毒性	: 測定データなし
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	: データがないが、粉塵を吸入すると、のど、気管、肺などの気道が刺激されるおそれがある。
(反復暴露)	: 長期間にわたり粉塵を吸入すると、塵肺症、けい肺症、繊維症を発症するおそれがある。
吸引性呼吸器有毒性	: 測定データなし
その他	: 鉱物性粉塵としての注意が必要である。

12. 環境影響情報

生態毒性 (魚毒性)	: 測定データなし
残留性/分解性	: 測定データなし
生態蓄積性	: 測定データなし
土壌中の移動性	: 測定データなし
その他	: 有用情報なし

13. 廃棄上の注意

廃棄の方法、残余廃棄物、汚染容器及び包装

- ・「廃棄物の処理及び情報に関する法」等に従って焼却処理を行うか、または許可を受けた廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国際規則（陸上、海上、航空）

国連分類 : 該当せず

国連番号 : 該当せず

品名 : 該当せず

容器等級 : 該当せず

海洋汚染物質: 非該当

特別の安全対策:

- ・運搬に際しては、容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下がないよう荷くずれ防止を確実に行う。

国内規制 : 特になし

15. 適用法令

労働安全衛生法

通知対象物質（法第 57 条の2） 法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表 9（法令番号 第 312 号「シリカ」）

表示対象物質（法第 57 条） : 該当せず

危険物（令別表 1） : 該当せず

特化則 : 該当せず

有機則 : 該当せず

消防法 : 該当せず

毒物及び劇物取締法 : 該当せず

化学物質管理促進法（PRTR 法）: 該当せず

その他 :

16. その他の情報

本文書の記載内容は、当社の最新の情報に基づくものですが、安全性を保障するものではありません。

すべての化学品には未知の有毒性がありうる為、取扱いには細心の注意が必要です。

ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださいますようお願い申し上げます。

参考文献:

改訂履歴: